

Course number		U-LAS06 20028 LJ43									
Course title (and course title in English)		社会経済システム論II Introduction to Socio-Economic Systems II		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,SHIBAYAMA KEITA					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・Second semester	
Days and periods		Wed.3		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)											
[Overview and purpose of the course]											
世界経済危機は、単に各国の政策の失敗が原因で引き起こされたと考えることはできない。一九八〇年代から始まった資本主義や国際関係の構造変化にまで目を向ける必要がある。講義では、現代の世界経済が直面する危機について、グローバルな不均衡の拡大や、所得格差、債務の拡大といった観点から歴史的、理論的に考察していきたい。											
[Course objectives]											
世界経済の現状について基本的事項を理解し、および現代の資本主義が直面する諸問題についての理解を深める。											
[Course schedule and contents]											
以下のトピックを取り上げる。なお項目毎の回数は固定的なものではなく、進行状況に応じて適宜、修正される。											
（１）資本主義の危機とは何か？【３回】 一九三〇年代、七〇年代の危機と比べた時、現代の経済危機にはどのような特徴があるのか。歴史を振り返りつつ解説する。											
（２）経済成長と長期停滞【４回】 近代的な経済成長はどのような背景で起きたのか。また、最近の先進国で見られる経済停滞は、どのような要因によるのか。複数の学説を紹介しつつ、解説する。											
（３）格差・不平等の拡大【４回】 格差や不平等の拡大が起きている歴史的・理論的な背景と、最近の政治状況との関連について概説。											
（４）金融の不安定化と政策の「実験」【３回】 資本主義の歴史につきもののバブルについて解説するとともに、金融危機以後に行われている実験的な経済政策の今後について考える。											

Continue to 社会経済システム論II(2)↓↓↓											

社会経済システム論II(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

レポート試験（3000字程度）によって評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）
講義中に指示する。

[Study outside of class (preparation and review)]

レポートの作成にあたっては統計資料の活用と講義中に指示する参考文献の読解が不可欠となる。

[Other information (office hours, etc.)]